

# MGU Chapel Letter

—第 49 号 2025 年 5 月 1 日— 発行：大学宗教センター

\* 2025 年度 年間聖句 \*

「あなたの御言葉は、わたしの道の光  
わたしの歩みを照らす灯（ともしび）。」

詩編 119 編 105 節



## 5 月の大学礼拝スケジュール

【12 時 10 分～12 時 30 分 礼拝堂にて】

### 5 月の礼拝日程（説教者の氏名 ※敬称略）

- ・ 5 月 2 日（金） 清水禎文 （教育学部教授）  
～ 5 月 5 日 こどもの日で休み ～
- ・ 5 月 7 日（水） 近藤誠 （仙台北教会牧師）
- ・ 5 月 9 日（金） 佐々木哲夫 （理事長・学院長・宗教総主事）
- ・ 5 月 12 日（月） 中本純 （仙台東六番丁教会牧師）
- ・ 5 月 14 日（水） 荒井偉作 （名取教会牧師）
- ・ 5 月 16 日（金） 栗原健 （大学宗教センター長）
- ・ 5 月 19 日（月） 金丸真 （仙台長命ヶ丘キリスト教会牧師）
- ・ 5 月 21 日（水） 平賀真理子 （宗教主事）  
～ 5 月 23 日 新入生歓迎会のため全日休講 ～
- ・ 5 月 26 日（月） 中家契介 （仙台黒松教会牧師）
- ・ 5 月 28 日（水） 風間義信 （日本キリスト改革派仙台教会牧師）
- ・ 5 月 30 日（金） 松本周 （一般教育部教授）

\* 聖書・讃美歌をお持ち下さい。

## ✦ あせってしまう時には ✦



1年生にとっては、大学生活が始まってから最初の1か月が過ぎましたね。当初の興奮から落ち着いて来た頃と思いますが、毎日どのような感じでしょうか。「授業がだんだん難しくなり、あせって来た」という人や、「親しい友達がなかなかできなくて、不安だ」という人もいます。他の人が皆うまくできているように感じて悩んでしまう人も、中にはいるかも知れません。もちろん、他の学年の方々も、それぞれ「大丈夫かな」と思う心配事があることでしょう。

このような時に思い出したいのが、イエスが語った「成長する種のたとえ」です。

「イエスは言われた。『神の国は次のようなものである。人が土に種を蒔いて、夜昼、寝起きしているうちに、種は芽を出して成長するが、どうしてそうなるのか、その人は知らない。土はひとりでに実を結ばせるのであり、まず茎、次に穂、そしてその穂には豊かな実ができる。実が熟すと、早速、鎌を入れる。収穫の時が来たからである。』」（マルコによる福音書4章26-29節） 「神との歩みは、種から芽が出て、茎、穂、実が成っていくように、少しずつ成長していくものだ」という意味のたとえです。同じことは、人生の道や学びのプロセスについても言えますね。

「芽が育つなんて、当たり前じゃないか」と思えそうですが、この「当たり前」を私たちは忘れてることが多いのです。コスパや生産性が強調される社会に生きてると、成長はあくまで順を追って進むものだけだということを忘れてしまい、一足飛びに自分を伸ばせたらと願いがちです。けれども、芽の次は茎、茎が固まれば穂というように、私たちはそれぞれの段階をしっかりと経ていない限り、次のステップに行くことはできません。先のことを考えてあせるよりも、腰を据えて今の段階をじっくり味わうことが大切になるのですね。

ここでイエスは、励ましとなることも示しています。「種がどのように成長していくのか、育てている農夫も知らない」というのです。成長は、必ずしも私たちの目に見えるものとは限りません。足踏みしているだけのように思える時でも、自分の中で何かが育っていることがあります。深い変化であるほど、思い通りに行かないことが多いです。人と比べ合うことなく、自分に最適のペースで成長させて下さる神の愛に信頼し、一步一步学びを進めて行きましょう。(栗)

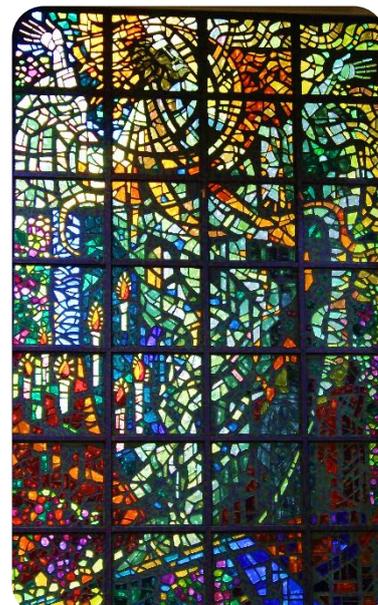
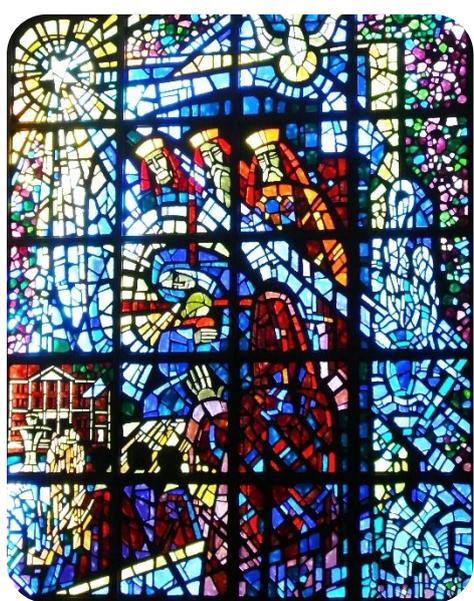
# 礼拝堂で ステンドグラス・ワークショップが開催されます！

5月22日(木) 14時40分～16時

講師：一般教育部教授 間瀬幸江先生

宮城学院礼拝堂のステンドグラスは、世界的に有名なステンドグラス作家ガブリエル・ロワール（1904年～1996年）の作品です。インターネットの無かった時代のデザイナーと顧客のやりとりは、どのようなものだったのでしょうか。フランスのアトリエ・ロワールで直接取材をされた間瀬先生のお話を伺います。ぜひ礼拝堂にお集まり下さい。

主催：大学宗教センター運営委員会



【連絡先】 宮城学院キリスト教センター

TEL : 022-279-9558

Email : [christ-c@mgu.ac.jp](mailto:christ-c@mgu.ac.jp)